

がん治療脱毛 保冷剤内蔵帽子で抑制



抗がん剤治療による脱毛抑制効果が注目されているアイスジャパンの「愛帽」。手前には帽子に内蔵される保冷剤

同社の愛帽開発のきっかけは2019年、抗がん剤治療中の関東地方の女性から届いた「帽子型の保冷剤がほしい」とのメール。松岡正昭社長らが女性の元に出向いて、事情を聞いて開発に着手した。同社が持つ「長時間」一定温度を保てる、固まらない保冷剤「技術で、冷凍しても軟らかく、頭に密着した状態を保てる保冷剤を目標とした。この女性のほか、約50人のがん患者の協力で改良を重ね、20年12月に製品化した。

「愛帽」の保冷剤は帽子から取り外して患者宅の冷凍庫での冷凍が可能で、繰り返し使える。約70分間、頭皮の温度を10〜15度に保てる。抗がん剤の点滴を受ける際は、保冷剤を交換しながら頭皮を冷却する。帽子には、保温性に優れたウエットスーツ素材を使用。製品化後も改良を加え、点滴投与時に片手で帽子のサ

室蘭「アイスジャパン」開発

保冷剤製造国内トップシェアのアイスジャパン（室蘭）が開発した、頭皮用保冷剤内蔵の帽子「愛帽」が、がん患者や医療関係者に注目されている。抗がん剤治療時の頭皮冷却で、脱毛を抑える効果が期待できるためだ。効果に個人差があり、使用できるがん種が限られるものの、闘病ブログや交流サイト（SNS）で評判も広がり、アピランス（外見）ケアの一環として患者に愛帽を紹介する病院もある。



アイスジャパンの松岡社長

頭皮冷やし抗がん剤届きにくく

アイスジャパンで調整できるようにした。価格は、治療計画によるが、帽子と保冷剤2時間分などで約7万円から。

同社によると、個人差はあるが、脱毛を防げなくても頭髮の回復を早めてウィッグの使用期間を短くしたり、治療後の頭髮量の減少を防いだりする効果があるという。使用者のインスタグラムや闘病ブログの投稿には「発毛が早かった」「励みになる」などの声も。

愛帽を使用した道内在住の40代女性は「治療後3カ月で毛量が脱毛前とほぼ同じに。職場復帰もウィッグなしでできた。つらい治療に前向きに取り組めたのは愛帽のおかげ」と話す。

ただ、愛帽の使用は乳がんや婦人科がんの患者に限定される。全身に影響が及ぶ白血病や転移可能性の高いがんでは、治療を阻害する恐れがあるためだ。同社は、患者とメールを複数回交換し担当医からの許可を確認できた場合のみ注文を受け付けている。

約5年間で600件以上の問い合わせがあるとい

医療機関も注目

い、これまで国内外210人以上に販売した。松岡社長は「利用者のお礼の手紙やメールに、私の方が励まされる」と話す。

頭皮冷却に関しては、外国製の医療装置を導入している病院もある。ただ、保険適用外のため患者1人あたりの負担が30万円を超える場合も。また、一般的なる冷却装置は1台につき同時に2人しか使用できないため、予約が殺到すれば自由に使えない。

こうした課題を解決できるのではと愛帽に注目する医療機関も。

静岡県焼津市のコミュニティ・ホスピタル甲賀病院では、抗がん剤治療で外見の変化に不安を抱く乳がん患者に愛帽を紹介している。以前に治療した患者の話から愛帽を知ったという同病院乳腺外科の山崎宏和医師は「冷却による脱毛抑制は研究中で、個人差も非常に大きい」としつつも、「アピランスケアは患者の治療に対する意思に関わる重要な問題。愛帽は比較的安価で『たとえ効果がなくても挑戦してみたい』と考える。実際に使用して『効果があった』という声もあり、患者の心と外見を支える製品だ」と話している。

愛帽の問い合わせは同社のホームページの専用フォーム（<https://www.icejapan.jp/inquiry-aibou/>）から。（宮木友美子）